

Shokei Music Festival 2018

尚 絢 音 楽 祭

入場無料

2018 11/10[±]

14:00-16:00 [開場13:30]

東北大学百周年記念会館 川内萩ホール

地下鉄東西線 国際センター駅下車 徒歩5分

曲目

讚美歌

嵐

F. ショパン

A. ロイド・ウェバー

R. ロジャース

R. ワーグナー

イエスキミの御名は

ふるさと

エチュード作品10-5「黒鍵」

オペラ座の怪人メドレー

サウンド・オブ・ミュージックメドレー

エルザの大聖堂への行進、他

お問い合わせ

詳細は尚絢学院HPをご確認ください。≫ <http://ap.shokei.jp> 【事前申込み不要】

学校法人尚絢学院総務課 e-mail.somuka@shokei.ac.jp tel.022-381-3333 fax.022-381-3335

※駐車場の数には限りがございますので、公共交通機関をご利用ください。
※出演者・曲目はやむを得ない事情により変更する場合がございます。



学校法人尚絢学院



尚絅音楽祭 実行委員長
佐藤 淳一

第4回 尚絅音楽祭の開催にあたり

2015年に始まった尚絅音楽祭も今年4回目を数えることになりました。過去3回は尚絅学院中学・高校の礼拝堂で行いましたが、今回は東北大学川内萩ホールを会場としてのコンサートとなります。尚絅音楽祭は第1回目から尚絅の中高校生・大学生・教職員が一体となって、それぞれの団体の演奏と合同ステージで構成しています。毎回新たな企画を加えながらプログラムを組んでおり、今回は中学・高校・大学の教員合同でのステージも企画しました。尚絅学院は126年の歴史の中で「音楽」を大切にきています。以前高校の合唱部では全日本コンクールにおいて全国1位を獲得したり、吹奏楽ではなく弦楽器も入れた管弦楽部を組織していたり、大学においては短期大学時代に保育科卒業演奏会を毎年開催し、仙台フィルの方々と共に演奏したりと、入学生にとってはあらゆる場面で音楽に携わることが出来る環境でした。その環境を持続しながら、“オール尚絅”を合言葉に今回も皆様方に演奏をお聴きいただきたいと思います。

出演者プロフィール

尚絅学院 中学校・高等学校

合唱部

私たち合唱部は同じ学び舎で勉学を共にする中学生と高校生が、「礼節」「感謝の心」「思いやり」の3点を大切に、演奏のみならず、全てにおいての「美しいハーモニー」を実現すべく、日々自主的に活動に取り組んでいます。さらなる表現力の向上のため、管弦楽部との兼部も積極的に勤めており、一体的な活動を行っています。定期演奏会や文化祭、賛美礼拝等の学内諸行事はもとより、地域の催し物等に積極的に出演しています。2017年3月にスローカー・トロンボーン4重奏団、2018年7月に広島県立観音高等学校音楽部OB合唱団東京支部との共演を果たしました。2017年度第69回全日本合唱コンクール宮城県大会銅賞受賞。国際ソロプチミスト仙台アイリスSクラブ会員。

管弦楽部

私たち管弦楽部は同じ学び舎で勉学を共にする中学生と高校生が、「礼節」「感謝の心」「思いやり」の3点を大切に、演奏のみならず、全てにおいての「美しいハーモニー」を実現すべく、日々自主的に活動に取り組んでいます。さらなる表現力の向上のため合唱部との兼部も積極的に勤めており、ほぼすべてのメンバーが兼部をし、一体的な活動を行っています。年に一度の定期演奏会や文化祭、定期的な賛美礼拝等の学内諸行事等に積極的に出演しています。編成も徐々にフルオーケストラに近づいてきており、管弦楽ならではの幅広い表現力を追及しています。

尚絅学院大学

子ども学科 「合唱」& 佐藤ゼミ 履修生

子ども学科に「合唱」という授業を置いています。今年度は時間割の関係で履修者が4名となりましたが、そのメンバーで毎時呼吸法から発声法を含めてハーモニーの練習を重ねています。佐藤ゼミは歌うことの大好きな4年生6名が集まったゼミで、3年次よりアンサンブルのレパートリーを増やしています。どちらの履修生も今回はアンコールのみでの出演ですが、オール尚絅の一翼を担い演奏します。

管弦楽団

音楽大学以外の大学に正規の授業として全国に類を見ない管弦楽団として1988年発足。以後、徐々に発展を続け、2014年の第21回定期演奏会を最後に愛好会に移行しました。しかし、教養を高めるためのカリキュラム改編に伴い2017年度から正規の授業として復活。全ての楽器にプロの演奏家や指導者をトレーナーとして迎え、個々の演奏レベルの向上とともに、管弦楽団としての演奏レベルの向上に努めています。



指揮/佐藤 淳一

さとう じゅんいち

東京藝術大学声楽科卒業。同大学院独唱科修了。1985年(昭和60年)より尚絅学院短期大学に勤務。その後尚絅学院大学表現文化学科を経て子ども学科教授、宗教部長。1990～91年宗教音楽の勉強のためにミュンヘンに留学。帰国後は宗教音楽のみならず、オペラも含め様々なコンサートに出演し、地域文化の向上に寄与している。現在、仙台オペラ協会芸術監督・演奏部会員代表。仙台宗教音楽研究会(オルガンとカンタータの会)代表。様々な合唱団の音楽監督や常任指揮者も務めている。

指揮/西川 慶

にしかわ けい

兵庫県姫路市出身。くらしき作陽大学 音楽学部 音楽学科 トロンボーン専攻卒業。2005年渡独。ハンブルク音楽院 上構課程を経て2010年9月ロストック音楽・演劇大学 芸術家養成課程を修了しディプロム号取得。メクレンブルガー・カンマーゾリステン、岡山フィルハーモニック管弦楽団などプロオーケストラでの代理奏者をはじめ、様々な演奏経験を積む。2012年4月より尚絅学院中学校・高等学校音楽科教諭、合唱部顧問、加えて2017年4月より管弦楽部顧問、尚絅学院大学非常勤講師(オーケストラ、トロンボーン)を務める。第12回日本クラシック音楽コンクール 全国大会 トロンボーン部門 審査員特別賞受賞。

ピアノ/土田 定克

つちだ さだかつ

兼松雅子、メルジャノフに師事。桐朋学園を経てモスクワ音楽院卒、同大学院修了。第3回ラフマニノフ国際コンクール第1位。名指揮者フェドセーエフ、三ツ橋敬子らと協演。国外ではロシア全域、ウクライナ、クロアチア、タイ、韓国で演奏会。最近ではベートーヴェンのヴァイオリンソナタ全10曲公演や、ラフマニノフの二大ピアノ協奏曲(No.2&3)一晚演奏会。CD「ラフマニノフ24の前奏曲」「ピアノ名曲集 乗り越えて」を発売。自著『ラフマニノフを弾け』を日露各語版で上梓。2018年、ウクライナの第二元大統領クチャマより功労感謝状授与。尚絅学院大学准教授。